

(概況)

平成18年の大分県鉱工業生産指数は、127.6で前年比6.5%と5年連続の上昇となった。

全国の生産指数は106.2で前年比4.8%と4年連続の上昇となった。九州は109.1で前年比5.3%と2年ぶりの上昇となった。

本県の鉱工業の動向について、生産指数を四半期別にみると、全期別において前期比で上昇した。業種別にみると、前年に比べ電気機械工業、非鉄金属工業、精密機械工業等9業種が上昇し、その他製品工業、家具工業、金属製品工業等9業種が低下した。特に電気機械工業の1業種で上昇寄与全体の79.02%を占めている。財別では最終需要財が7年連続の上昇となり、生産財は2年連続の上昇となった。

出荷指数は、131.4で前年比6.4%となり、5年連続の上昇となった。業種別にみると、前年に比べ電気機械工業、非鉄金属工業、プラスチック製品工業等9業種が上昇し、その他製品工業、家具工業、食料品・たばこ工業等9業種が低下した。

在庫指数は、106.9で前年比5.2%となり、2年連続の上昇となった。業種別にみると、木材・木製品工業、非鉄金属工業、化学工業等8業種で上昇し、その他製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、一般機械工業等9業種が低下した。

【生産指数及び対前年比の推移】

生産指数(平成12年=100)

